

総合防犯設備士の歩み

全体最適な防犯環境を設計～社会的使命と未来像～

総合防犯設備士委員会 委員長 高尾 祐之
ヒビキセキュリティ(株)代表取締役(2025年警察庁長官表彰受賞)



公益社団法人日本防犯設備協会が設立40周年を迎えられましたこと、心よりお祝い申し上げます。

また設立準備段階から今日まで、協会の運営に携わってこられた諸先輩方のご尽力に心より敬意を表します。

●総合防犯設備士だからできること

この40年、日本の防犯を取り巻く環境は大きく変化してきました。侵入盗対策を中心としてきた防犯設備は、現在では入退室管理、監視カメラ、遠隔監視、ネットワーク技術、AI活用などへ広がり、防犯対策は社会インフラの一部として重要な役割を担う時代となっています。

時代は変わり防犯ニーズも変化している中、総合防犯設備士に求められる役割も大きく進化しています。総合防犯設備士は誕生から25年が経過しました。26年目に入り、これまで培われた先輩方の歩みを受け継ぎつつ、新しい時代の社会的な課題にも応えていかなければいけません。

総合防犯設備士の先導にご尽力いただいている日防設理事の平野富義氏は「総合防犯設備士にしかできないこと。総合防犯設備士だからできること。」を追求していこうと当初より仰っています。

その応えの一つが「総合防犯設備士テキスト」(2024年4月1日改訂版発行)に記載されました。主な改訂内容は「防犯コンサルティング」のコンテンツに具体策を掲載し充実させたことです。

総合防犯設備士の特長は、防犯課題に対する総合的なコンサルティング能力にあります。

防犯コンサルティング能力の具体的な特徴の一つが「総合防犯ソリューション」です。

●総合防犯ソリューション

総合防犯ソリューションは総合防犯設備士が行う防犯コンサルティングの中心となるものです。具体的には総合防犯ソリューション3要素で防犯に関する依頼主の要望や顕在的な課題及び潜在的な課題を解決します。

総合防犯ソリューション3要素の概要は以下の通りです。

- ①分析力…依頼主の要望や防犯診断で現状を正確に把握、分析すること。
- ②洞察力…依頼主が気づいていない課題や本質的な課題を見抜くこと。
- ③構想力…依頼主の要望と顕在的及び潜在的な課題を解決し適切な防犯環境を構築すること。

総合防犯ソリューションは、総合防犯設備士ならではの豊富な経験と確かな防犯知識を活かし社会の様々な防犯課題を総合力で解決します。

二つ目の具体的な特徴は「防犯環境プロデュース」です。

●防犯環境プロデュース

総合防犯設備士委員会では、総合防犯設備士共通のスローガン「総合力で、防犯力強化！」を掲げました。

総合力で防犯力を強化するには、防犯設備だけで対策を講じるのではなく、次の三つの要素を組合せ、それぞれの文化や風土に合った防犯環境を築いていくことが肝要です。

<防犯環境3要素>

- ①運用管理…防犯に関するルールづくり、動線管理、ゾーニング、レイアウト、防犯責任者
- ②環境整備…整理、整頓、清掃、習慣(自社内だけでなく地域社会にも目を向きたい)
- ③防犯設備…出入管理、侵入警報、映像監視、…

防犯対策には限られた予算や施設の構造、周辺環境など制約があります。その制約の中で、物理的・心理的な要素を組合せ、全体最適な防犯環境を設計し構築することが総合防犯設備士の真骨頂といえるでしょう。

●犯罪未然防止の方程式

防犯対策は犯罪のチャンスを与えない環境を創ることです。この環境を防犯環境と言います。

総合防犯ソリューションや防犯環境プロデュースを行うにあたり、防犯対策の軸となる考え方をまとめたものが、「犯罪未然防止の方程式」です。

主なポイント三つを以下に記載します。

①防犯5S

- ・整 理…不要なものは片づける、捨てる。
- ・整 頓…定位置管理。
- ・清 掃…掃除、植栽管理、ポイ捨て・不法投棄・落書き除去。
- ・習 慣…ささいなルール違反、秩序違反を軽視しない。(割れ窓理論)
- ・主導権…犯行の主導権は犯罪企図者が握っている。

②犯罪企図者の目線で考える

- ・犯行を成功させたい
犯行が成功しそうな雰囲気があるか否かが判断基準。
- ・捕まりたくない
多くの犯罪企図者は逮捕されたくないという心理を持っている。
- ・情報収集
周辺環境を含めターゲットの情報収集には余念がない。

③判断の軸となる考え方

脆弱性の評価や防犯診断をするときの判断基準

は、犯罪機会論「犯罪抑止の3要素(小宮信夫教授考案)」を応用し、「防犯3原則」と呼称して活用しています。あらゆる現場で活用できるように分かりやすくまとめました。

犯罪企図者の判断基準と対策側の行動基準を同一軸でまとめたものです。

<防犯3原則>

- ・領域性…(入りやすい・入りにくい)
(居やすい・居づらい)
- ・監視性…(見えにくい・見えやすい)
(見通しが悪い・見通しが良い)
- ・抵抗性…(やりやすい・やりにくい)
(容易だ・困難だ)

犯罪の機会(チャンス)とは、犯罪が成功しそうな雰囲気のこと。具体的には、「入りやすい・見えにくい・やりやすい」場所や状況、環境です。

このように、犯罪企図者もまた犯罪機会論を判断基準にして犯行に及んでいることが分かります。犯罪企図者の判断基準と対策側の行動基準を同じ土俵に乗せたということで犯罪機会論は画期的な防犯理論です。

●総合防犯設備士の3本柱

総合防犯設備士委員会では、総合防犯設備士の社会的な存在意義と未来像をまとめ活動領域を明確にしました。

総合防犯設備士の3本柱は以下の通りです。

①防犯設備

出入管理、侵入警報、防犯カメラ、…

②防犯対策

総合防犯ソリューション、防犯環境プロデュース、犯罪未然防止の方程式

③セキュリティ

サイバー・フィジカル・セキュリティ、リスク・マネジメント、…

私たち総合防犯設備士は、防犯設備の専門家というベースを持っています。そのうえで、様々な防犯課題を総合力で解決する防犯対策の専門家でもあ

ります。

さらに、サイバー犯罪がサイバー空間のみならずリアルな空間にも多大な影響を与える時代となりました。時代のニーズは、サイバー・セキュリティとフィジカル・セキュリティを融合させたサイバー・フィジカル・セキュリティという領域に及んでいます。

フィジカル・セキュリティのトップランナーである総合防犯設備士は、サイバー・フィジカル・セキュリティの領域をも守備範囲とし、世の中の役に立ち続ける近未来像を描いています。

●防犯と言えば「総合防犯設備士」

たとえば、各地域協会での活動、防犯診断や防犯講話、防犯優良住宅認定制度などでは総合防犯設備士がリーダー的な存在となり活躍しています。

たとえば、警察官向けの防犯実務研修では、幾人かの総合防犯設備士が講師をつとめています。

たとえば、総合防犯設備士は警察や自治体から防犯アドバイスの仕事を依頼されています。

たとえば、建設キャリアアップシステム(CCUS)では、2025年8月1日より、防犯設備士は「レベル2」相当、総合防犯設備士は「レベル3」相当に格付けされました。これにより新たにさらなる社会的経済的価値が付加されることになりました。

たとえば、総合防犯設備士受験セミナーでは、講師は皆、総合防犯設備士です。

たとえば近年、総合防犯設備士資格を取得する警察官が全国的に増加しています。今後も増え続けると予想しています。

たとえば、社会的に関心の高い事件が発生するたびに、新聞社、テレビ局などの報道機関から取材を受ける回数が増えてきました。日防設に来る取材や問い合わせには、基本的に総合防犯設備士のネットワークで対応しています。

たとえば近年、農村における揚排水機場の銅ケーブルや圃場の給水バルブの盗難事件が深刻な社会問題となっています。今年度、農林水産省関東農政局は

宇都宮大学の教授と総合防犯設備士に、「防犯対策に関する現地調査委員」を委嘱し対策に乗り出しました。

このように、それぞれの地域、それぞれの持ち場で総合防犯設備士は活躍し、地道ですが信頼感を高めています。

また、様々な犯罪事案を題材にし、「どうすればその犯罪を防ぐことができたのか」を研究する「総合防犯ソリューション研究会」を立ち上げました。あらゆる犯罪を研究し、私たち総合防犯設備士の個々の防犯能力、すなわち総合防犯ソリューション能力を磨き続けていこうという趣旨でのスタートです。

いつの時代も世の中の役に立ち続けること。

時代のニーズに対応し、時代とともに進化すること。

防犯と言えば「総合防犯設備士」と誰もが思う社会の実現へ、皆様とともに歩みを進めてまいります。

引き続き、ご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。